

YOSHIMURA HEAD 125cc KIT HONDA NSF100 / XR100 Motard / Ape100 【Parts No. 268-406-2500】

YOSHIMURA HEAD 115cc KIT HONDA NSF100 / XR100 Motard / Ape100 【Parts No. 268-406-1500】

- 作業に入る前に必ず取扱説明書を熟読して下さい。
- 作業中は本書を手元に置き、指示に従って作業を進めて下さい。
- 本書は製品を廃棄するまで確実に保管して下さい。

参 考

本書は二つの製品について記載しています。ヨシムラヘッド115ccキットの方は
Page 6/16 各部の点検・洗浄 までお読み頂いた後、Page 10/16へお進み下さい。

～ご使用の前に必ずお読み下さい。～

- ◎本製品はレース専用部品です。一般公道での走行は絶対に行わないで下さい。
- ◎本製品取り付けにおける一切の損害については責任を負いかねます。
- ◎本書は、基本的な整備知識と整備技能を持った方を対象にしています。基本的な整備知識と整備技能をお持ちでない方は、信頼のおけるお店に取り付けを依頼して下さい。
- ◎本書は、取り付けにおける注意事項等を述べたものです。本製品を取り付ける場合は“HONDA純正サービスマニュアル”(NSF100はセットアップマニュアル)及び、別途必要な部品の“取扱説明書”を必ず用意し、手順に従い作業して下さい。
 HONDA純正サービスマニュアル品番：60KRL00 (Ape100用)
60KRL00Z (XR100 Motard用 ※ 60KRL00も必要です。)
- ◎当社の指定する部品 (Page 4/16 “別途必要な部品”) 以外を使用した場合、本来の性能を発揮することが難しくなります。
- ◎本製品を取り付けたことによる、本製品以外の部品の不具合 (破損・損傷等) に関しては、本製品以外の部品の保証を致しかねます。
- ◎取り付ける前に本製品を洗浄油・パーツクリーナー等で洗浄して下さい。125&115ヘッドASSYは、既に洗浄しオイル塗布・組み立て済みですが、ゴミ等が付着している場合は、一度分解し洗浄して下さい。
- ◎サークリップ、ガスケット及びOリングは、再使用しないで下さい。交換する場合は新品を使用して下さい。
- ◎エンジンを取り外して作業を行う場合は、エンジンスタンドを使用して下さい。
- ◎本製品組み付け後、エンジンオイルは新品を注入して下さい。エンジンオイルは、本書指定の等級 (APIサービス分類) 及び粘度 (SAE規格) のものを使用して下さい。
(Page 15/16 エンジンオイルの注入 参照)
- ◎エンジンオイルの量は、STDと同じですが、オイルクーラーを取り付けた場合は、オイルクーラーの取扱説明書に従い注入して下さい。
- ◎使用燃料は、ハイオクタン価ガソリンです。フューエルタンク内にレギュラーガソリンが残っている場合は、全て抜き取ってから給油して下さい。
- ◎キャブレターのセッティングが必要です。(キャブレターはTM-MJN24及びTM-MJN26を前提としています。)
- ◎必ずタコメーターを取り付け、12,500rpm以下で走行して下さい。(当社製デジタルデュアルテンプレーターASSYはタコメーター機能付きです。)
- ◎必ず油温計を取り付け、なるべく油温100℃以下で走行して下さい。もし油温120℃を超えた場合は直ちにエンジンを停止し、油温が100℃以下に下がるまで走行は控えて下さい。※オイルパンドレンボルト部にて計測



危険

：怠ると怪我・事故につながる注意事項を示してあります。



注意

：怠ると部品の損傷などにつながる注意事項を示してあります。

参考

：スムーズに作業を進める上でのポイントや参考となる事項を示してあります。

● 適応機種

HONDA : NSF100
XR100 Motard
Ape 100

参考

STD配線のNSF100は、10,500rpmでリミッターが効いてしまう為、XR100 Motard の配線一式を取り付けることで本製品の性能が発揮されます。品名及び品番は Page 4/16 “別途必要な部品” を参照して下さい。

※上記以外の機種には絶対に使用しないで下さい。

● 仕様・諸元

	ヨシムラヘッド115ccキット	ヨシムラヘッド125ccキット
排気量	114.7cc	124.9cc
ピストン径	φ57	←
圧縮比	11.5:1	12.3:1
ボア×ストローク	57×45	57×48.96
カムプロフィール	右図参照	

※右記カムプロフィールは設計値です。その為、実測値と若干異なる場合があります。



危険

使用回転数の上限は12,500rpmです。
回転計を取り付け、必ず12,500rpm以下で
使用して下さい。

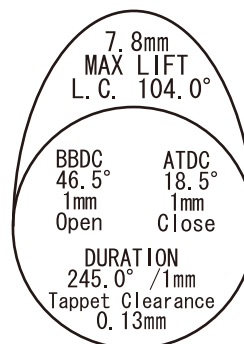
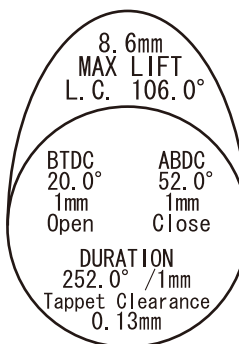


危険

必ず油温計を取り付け、以下の温度※を守って下さい。 ※オイルバンドレンボルト部に計測
推奨：60℃～100℃ 限度：120℃

インテーク

エキゾースト



● サービスデータ（STDと異なるデータです。）

		標準値	限度値	バルブシート形状
バルブステム径	インテーク	4.490～4.475	4.450	
	エキゾースト	4.470～4.455	4.430	
カム山高さ	インテーク	29.250	29.070	
	エキゾースト	28.690	28.540	
クランクシャフト振れ (ヨシムラヘッド125ccキットのみ)	右部	—	0.085	
	左部	—	0.070	
バルブスプリング自由長 (IN&EX)		—	33.17	
タペットクリアランス		0.08～0.18	—	
ピストン-シリンダークリアランス		0.02～0.05	0.10	
バルブシート当り幅	インテーク	0.8～1.2 (推奨値)	1.5	
	エキゾースト	1.0～1.4 (推奨値)	1.7	
ピストン-バルブクリアランス (推奨) ※	インテーク	—	0.8 (最小値)	
	エキゾースト	—	1.0 (最小値)	
ピストン-シリンダーヘッドクリアランス (推奨)		—	0.50 (最小値)	

※インテーク側は、ピストンの位置がオーバーラップのATDC(排気上死点后)10°で測定します。
エキゾースト側は、BTDC(前)10°で測定します。

● KIT内容

No.	品番	品名	要数	125	115	No.	品番	品名	要数	125	115
1	260-406-1001	125&115ヘッドASSY	1	●	●	17b	201-406-5702	ヨシムラヘッド用115ピストン	1	-	●
2	1Y27	イリジウムプラグ	1	●	●	18	202-406-5710	ピストンリングセット	1	●	●
3	225-406-0xxx	タベットシム	12	●	●	19	203-406-1410	ピストンピン	1	●	●
4	264-406-0100	ロッカーアーム	2	●	●	20	204-406-1410	ピストンサークリップセット	1	●	●
5	808-106-5030	スタッドボルト	2	●	●	21	210-406-0151	ST-2カムシャフトASSY	1	●	●
6	408-406-0800	プラグキャップラバー	1	●	●	22	265-406-0000	カムシャフト固定キー	1	●	●
7	951-406-0000	ブラグレンチ	1	●	●	23	205-406-5710	57mmシリンドー	1	●	●
8	262-406-0200	ヘッドブラインドカバー	1	●	●	24	205-406-1010	パイパスブロック	1	●	●
9	299-406-3500	ヘッドブラインドカバーガasket	1	●	●	25	205-406-1020	ブロックガasket	1	●	●
10	803-204-2008	ボタンボルト 4×8 SUS	6	●	●	26	205-406-2010	バンジョーボルト	2	●	●
11	261-406-2070	油冷プレート	1	●	●	27	812-410-1415	アルミワッシャー	2	●	●
12	808-110-9010	ボルト PT 1/8-28	1	●	●	28	291-406-0000	ガasketセット	1	●	●
13	800-210-5015	キャップボルトM10×15 SUS	1	●	●	29	250-406-0000	クランクシャフト	1	●	-
14	812-310-1610	M10ガasket	1	●	●	30	295-406-0000	クランクケースガasket	1	●	-
15	129-222-1000	エキゾーストガasket	1	●	●	31	296-406-2000	ジェネレーターカバーガasket	1	●	-
16	294-406-0500	マニホールドガasket	1	●	●	32	296-406-1000	クラッチカバーガasket	1	●	-
17a	201-406-5701	ヨシムラヘッド用125ピストン	1	●	-						

※1 ①は組み立て済みです。

※2 タペットシムの品番“xxx”には、タペットシム表面に記された番号(150～205の間、5刻み)が入ります。シム表面の番号は、シムの厚さを表します。

尚、シム表面の番号と厚さについては、Page 13/16のタペットシム早見表を参照して下さい。

※3 ウッドラフキー ④は単品販売しています。[品番：253-406-2544]



ヨシムラヘッド125ccキットには、ヨシムラヘッド用125ピストン以外のピストンは絶対に使用しないで下さい。

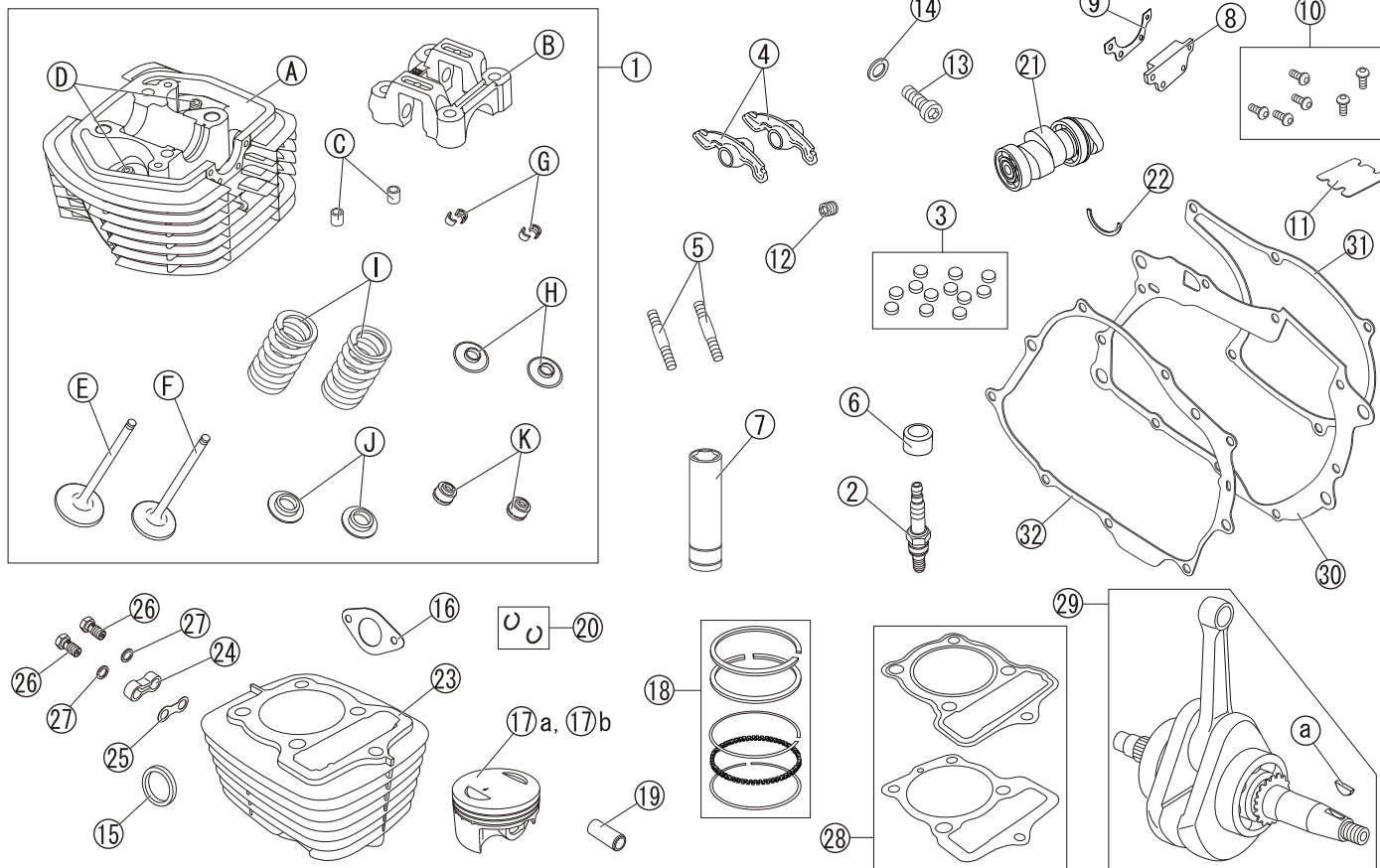


ヨシムラヘッド115ccキットには、ヨシムラヘッド用115ピストン以外のピストンは絶対に使用しないで下さい。

■125&115ヘッドASSY [品番：260-406-1001] 詳細

No.	品番	品名	要数	No.	品番	品名	要数	No.	品番	品名	要数
A	260-406-0100	ヘッド本体ASSY	1	E	230-406-0010	インテークバルブ	1	I	220-406-0001	バルブスプリング	2
B		カムキャリア	1	F	230-406-0020	エキゾーストバルブ	1	J	224-181-0080	バルブスプリングシート	2
C		ノックピン	2	G	222-406-0011	コッター	4	K	881-406-4500	バルブステムシール	2
D		バルブガイド	2	H	223-406-3231	リテーナー	2				

※ ① ② ③ ④ はセット販売です。



● 別途必要な部品

■ ヨシムラサイクロン

Ape100用 (ファイヤースペックも対応しています。※手曲チタンサイクロン TYPE 2 を除きます。)

- ・機械曲チタンサイクロン TYPE 1 (TT:チタンカバー) [品番: 110-406-8280]
- ・機械曲チタンサイクロン TYPE 1 (TC:カーボンカバー) [品番: 110-406-8290]
- ・手曲チタンサイクロン TYPE 2 (TT:チタンカバー) [品番: 110-406-8880]
- ・手曲チタンサイクロン TYPE 2 (TC:カーボンカバー) [品番: 110-406-8890]
- ・Tri-Ovalチタンサイクロン 2エンド TYPE 3 (TT:チタンカバー) [品番: 110-406-8980]

XR100 Motard用 (ファイヤースペックも対応しています。)

- ・Tri-Coneチタンサイクロン R-SPEC (TT:チタンカバー) [品番: 110-409-8C80]
- ・機械曲チタンサイクロン R-SPEC (TT:チタンカバー) [品番: 110-409-8D80]
- ・機械曲チタンサイクロン R-SPEC (TC:カーボンカバー) [品番: 110-409-8D90]
- ・Tri-Coneチタンサイクロン “Carbon End” (TT:チタンカバー) [品番: 110-409-8N80]
- ・Tri-Coneチタンサイクロン “Carbon End” (TC:カーボンカバー) [品番: 110-409-8N90]

NSF100用

- ・レーシングチタンサイクロン [品番: 150-489-8D91 又は 150-489-8D90]

■ ヨシムラ F.C.C. 強化クラッチキット [品番: 311-406-0000]

■ TM-MJN24キャブレター、TM-MJN26キャブレター又は、CR-mini MJN22キャブレター (下記のいずれかが必要です。)

- ・Ape100用 TM-MJN24 [品番: 770-406-0000]
- ・XR100 Motard用 TM-MJN24 [品番: 770-409-0000]
- ・NSF100用 TM-MJN24 [品番: 770-489-0000]
- ・Ape100用 TM-MJN26 [品番: 770-406-1000]
- ・XR100 Motard用 TM-MJN26 [品番: 770-409-1000]
- ・NSF100用 TM-MJN26 [品番: 770-489-1000]
- ・CR-mini MJN22キャブレター単体シルバーボディ ヨシムラヘッド用 [品番: 758-406-4100]

■ TM-MJN24キャブレターを使用する場合には、以下のキャブレター部品が必要です。

- ・TM-MJN24ノズル “AF” [品番: 776-243-1000]
- ・メインジェット (TMR-MJN/TMR/TM-MJN24/TM-MJN26用) [品番: 731-010-0975]
- ・パイロットジェット (TM-MJN24/TM-MJN26用) [品番: 732-012-0275]

■ TM用スロットルホルダーセット [品番: 671-030-7501 又は 671-030-7500]

■ デジタルデュアルテンプレーターASSY (1.3mコード) [品番: 416-001-0100]

※バッテリーレス車の為 [Auto ON]機能とバックライトは使用出来ません。

■ テンプレーターセンサー TYPE-G (M12×1.5) [品番: 415-003-0612]

■ NSF100は以下の部品が必要です。(NSF100用のタコメーター及びエンジンストップスイッチは使用出来ません。)

- ・CDIユニット [HONDA純正品番: 30410-KRL-003]
- ・ハーネス、ワイヤー [HONDA純正品番: 32100-KTK-000]
- ・ステーターCOMP. [HONDA純正品番: 31120-KTK-003]
- ・スイッチASSY., コンビネーション [HONDA純正品番: 35100-KTK-000]
- ・レクチファイヤーCOMP., レギュレート [HONDA純正品番: 31600-GBL-871]
- ・スイッチセット, サイドスタンド [HONDA純正品番: 35070-KTK-000]

● 交換が必要なガスケット類 (KIT内容に含まれていません。)

■ シリンダーヘッドカバーガスケット [ガスケット, ヘッドカバー / HONDA純正品番: 12391-149-003]

■ O-リング (カムチェーンアジャスタ用) [Oリング 11×2.0 / HONDA純正品番: 91303-259-000]

■ O-リング (カムチェーンテンショナアジャストスクリュー用) [Oリング 5.5×1.5 / HONDA純正品番: 91301-216-000]

■ O-リング (オイルポンプ用) [Oリング 9.4×2.4 / HONDA純正品番: 91304-KK3-830]

■ オイルシール (ステーターベース用) [オイルシール 21×36×7 / HONDA純正品番: 91202-436-003]

■ O-リング (ステーターベース用) [Oリング 43×2.5 / HONDA純正品番: 91303-436-003]

■ ロックワッシャー (ドライブギヤ用) [ワッシャー 14.2×23×2.6 / HONDA純正品番: 90408-MN5-000]

● エンジンの分解・組立に必要な特殊工具 (クランクシャフト、ステーターCOMP. の交換に必要です。)

■ ギヤホルダ [HONDA純正品番: 07724-0010100]

■ ユニバーサルホルダ [HONDA純正品番: 07725-0030000]

■ フライホイールプーラ [HONDA純正品番: 07733-0010000]

● ヨシムラヘッドの分解・組立に必要な特殊工具

■ バルブリフター [SUZUKI純正品番: 09916-14510]

■ アタッチメント [SUZUKI純正品番: 09916-14530]

● 必要に応じて交換するガスケット類 (KIT内容に含まれていません。)

■ シールラバー (シリンダーヘッドカバーボルト用) [ラバー, マウンティング / HONDA純正品番: 90541-195-670]

※その他、HONDA純正サービスマニュアル (NSF100はセットアップマニュアル) に従って点検し、摩耗・損傷がある部品は交換します。

● 使用推奨部品

■ テンプレーターセンサー TYPE-C (PT1/8-28) [品番: 415-003-4999]

■ TMR-MJN28 (NSF100用) [品番: 768-489-8000 (DSF仕様) / 778-489-8000 (ファンネル仕様) / 788-489-8000 (BMCフィルター仕様)]

■ FCR-MJN28 (NSF100用) [品番: 769-489-2500 (DSF仕様) / 759-489-2500 (ファンネル仕様) / 749-489-2500 (BMCフィルター仕様)]

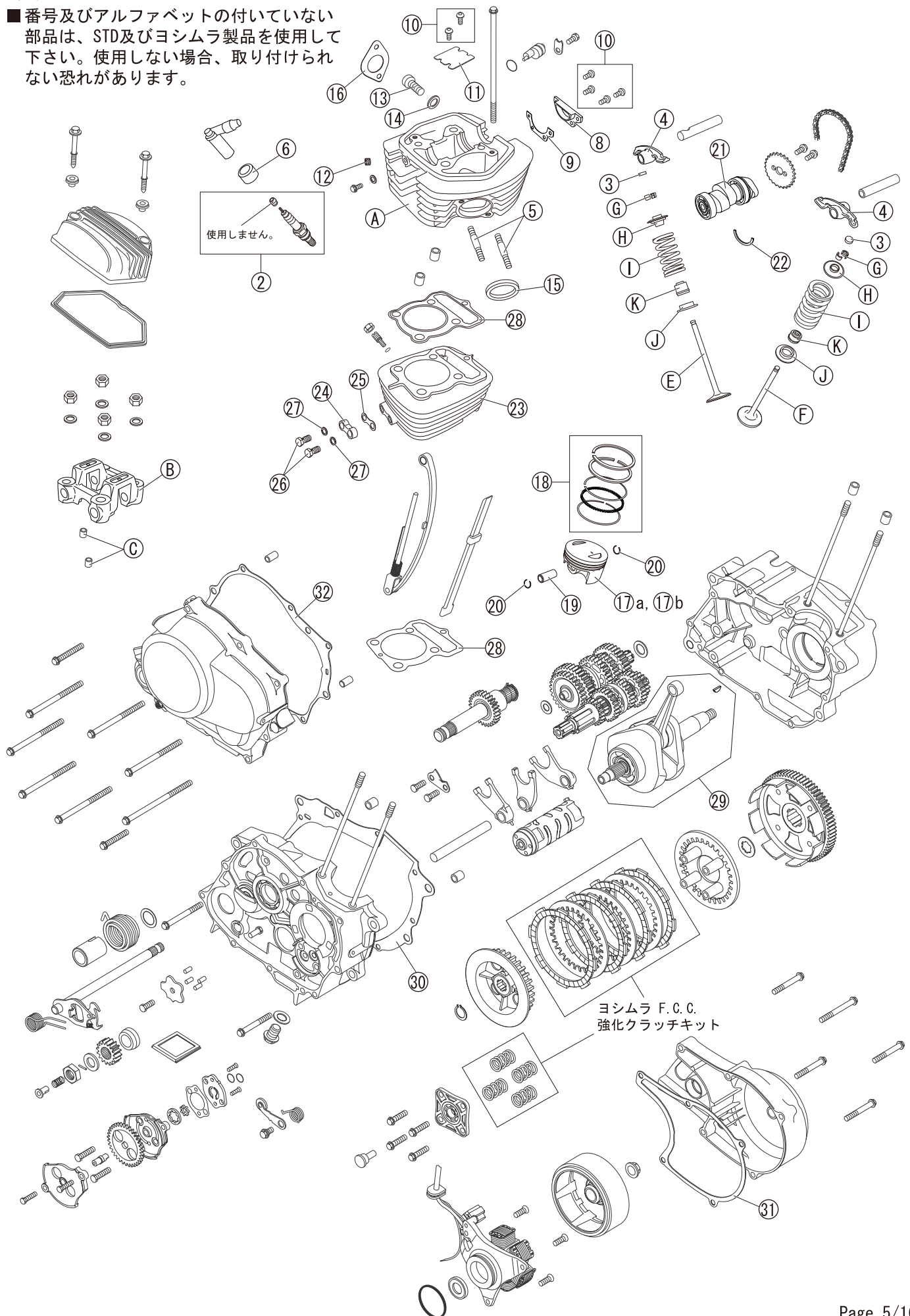
■ スズキボンド “1207B” [SUZUKI純正品番: 99000-31140]

■ オイルフィルター (ヨシムラヘッド125ccキットのみ)、オイルクーラー、強化オイルポンプ

※本製品を使用するにあたって、上記商品の取り付けを強くお奨め致します。

● 展開図

■ 番号及びアルファベットの付いていない部品は、STD及びヨシムラ製品を使用して下さい。使用しない場合、取り付けられない恐れがあります。



【取り付けについて】

以下に記載される項目は、本製品取り付けにおける注意事項等を述べたものです。本書に記載されていない各部品の取り外し・取り付け及び、それらに関する注意事項等は“HONDA純正サービスマニュアル”(NSF100はセットアップマニュアル)及び、各商品に付属の“取扱説明書”に従って行って下さい。

注意

取り付ける前に、本製品を洗浄油・パーツクリーナー等で洗浄して下さい。125&115ヘッドASSYは既に洗浄しオイル塗布・組み立て済みですが、ゴミ等が付着している場合は、一度分解し洗浄して下さい。
(分解・組立は Page 16/16参照)

参考

シリンダー、シリンダーヘッド等の鋭利な部分には、多少のバリが残っている場合があります。取り付けの前にバリを取り除くことをお奨め致します。
バリ取りは手の怪我を防ぐと共に、エンジン可動中のシリンダー内へのバリの混入も防ぎます。

● エンジンの分解・組立に必要な特殊工具 (クランクシャフトの交換に必要です。)

- ギヤホルダ・・・・・・・・・・・・・・・・[HONDA純正品番: 07724-0010100]
- ユニバーサルホルダ・・・・・・・・・・[HONDA純正品番: 07725-0030000]
- フライホイールプーラ・・・・・・・・・・[HONDA純正品番: 07733-0010000]

● エンジンの分解

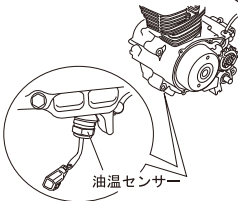
1. エンジンオイル抜き取り後、エンジンを車体から取り外します。
2. エンジンを分解します。

注意

エンジンの取り外しと分解は、HONDA純正サービスマニュアル(NSF100はセットアップマニュアル)を参照して下さい。

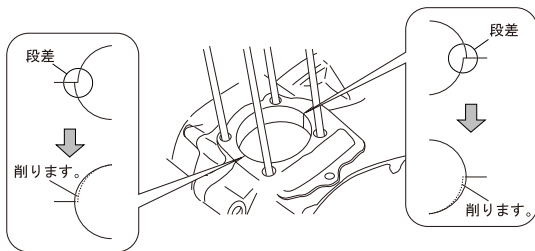
注意

エンジンを取り外した後は、エンジンスタンドを使用して下さい。油温センサーがクランクケースに取り付けられた状態で、床に直接エンジンを置きますと、油温センサーが破損する恐れがあります。



● クランクケース合わせ面の点検・加工

1. シリンダーを取り外し、シリンダー合わせ面からガスケット材を取り除いた後、又はクランクケースを分割し、ノックピンを使用して左右のクランクケースを仮組みした後、クランクケース合わせ面に段差がないか点検します。
段差がない場合は、加工しないで使用することが出来ますが段差がある場合は、各ベアリングを取り外した後、段差部を削ります。
2. クランクケースを洗浄した後、元通りに組み立てます。



注意

取り外したベアリングは新品に交換して下さい。

参考

クランクケース内部及び、コンロッド小端部に削り粉が入らないように、クランクケース開口部及びコンロッド小端部を、ウェスで覆ってから削る方法もあります。



● 各部の点検・洗浄

注意

分解した各エンジンパーツ(STD部品)を、HONDA純正サービスマニュアル(NSF100はセットアップマニュアル)に従って、点検・洗浄・グリス又はオイルの塗布を行って下さい。
点検後、必要に応じて部品を交換して下さい。

● クランクシャフトとトランスミッションの取り付け

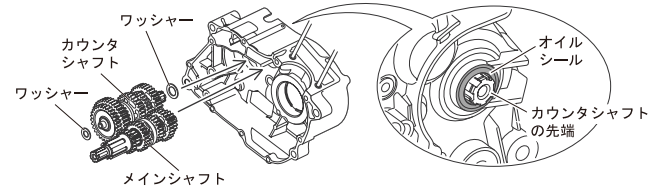
1. ギヤの歯面・摺動面・ギヤシフト溝に、モリブデングリスとエンジンオイルを混合したものを塗布し、メインシャフトとカウンタシャフトを組み立てます。



注意

HONDA純正サービスマニュアル(NSF100はセットアップマニュアル)に従い、組み立てて下さい。
モリブデングリスとエンジンオイルは、1対1の割合で混合して作って下さい。

2. メインシャフトとカウンタシャフトを一体で取り付けます。

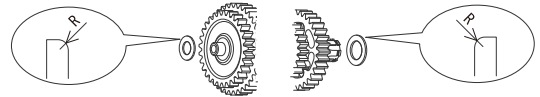


注意

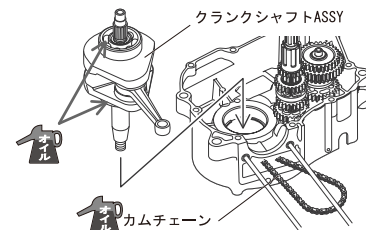
カウンタシャフトの先端でオイルシールを傷つけない様に取り付けて下さい。
オイル漏れの原因となります。

注意

カウンタシャフト両端のワッシャは、垂れ面(角が丸くなっている側)をギヤ側へ向けて取り付けして下さい。



3. カムチェーンとクランクシャフトベアリングにエンジンオイルを塗布し、L. クランクケースにカムチェーンとクランクシャフトASSYを取り付けます。

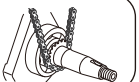


注意

クランクシャフト取り付け時、ハンマー等でクランクシャフトを強く叩かないで下さい。

注意

カムチェーンが、クランクシャフトASSYのタイミングプロケットに取り付けられていることを確認して下さい。

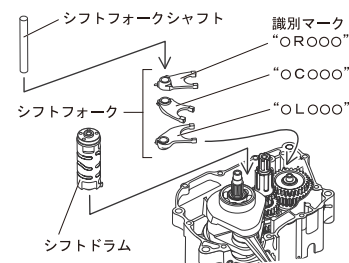


4. 識別マークを上面にして、シフトフォークをシフトギヤ溝に入れます。

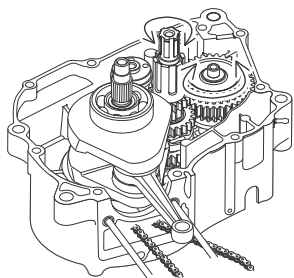
注意

シフトフォークは、識別マークに従って正しい位置に取り付けて下さい。

5. シフトドラム取り付け後、シフトフォークシャフトを、各シフトフォークの穴を通して、L. クランクケースに取り付けます。



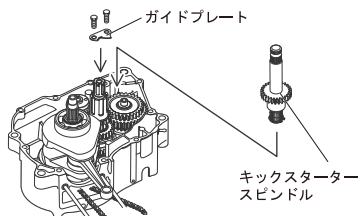
- シフトドラムをニュートラル位置にします。
- メインシャフトとカウンタシャフトを手で回し、各ギヤがスムーズに回転することを確認します



注意 スムーズに回転しない場合は、組み立て及び取り付けを再度行って下さい。

参考 M3ギヤ、C5ギヤ、C4ギヤ (全てシフトフォークを取り付けたギヤ)が、隣接しているギヤに噛み合っていない位置がニュートラルです。

- ボルトを使用してガイドプレートをL. クランクケースに取り付けます。
- キックスタータースピンドルをL. クランクケースに取り付けます。

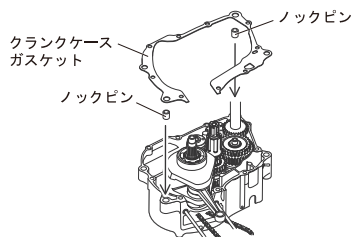


注意 スターターラチェット部の爪を、ガイドプレートの下に入れて下さい。



● クランクケースの組み立て

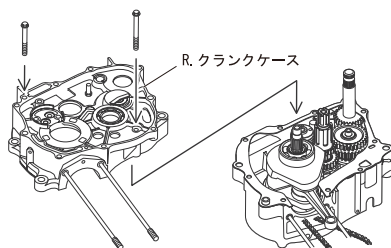
- クランクケースガasketの不要な部分を切り取り、ノックピンとクランクケースガasketを、L. クランクケースに取り付けます。



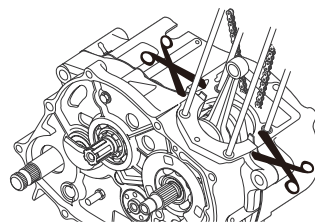
注意 クランクケースガasketの切りすぎに注意して下さい。
R. クランクケース取り付け後、仕上げます。



- ボルトを使用して、R. クランクケースを取り付けます。

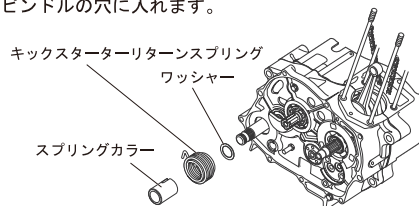


- クランクケースからはみ出した、シリンダー取り付け部のクランクケースガスケットを切り取ります。



注意 ガasketの切りくずをクランクケース内に落とさない様に、クランクケース開口部をウエスで覆って作業して下さい。

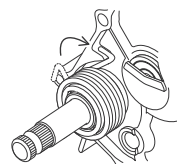
- ワッシャー、キックスターターリターンズpring、springカラーを取り付けます。キックスターターリターンズpringは、内側のフックをキックスタータースピンドルの穴に入れます。



参考 キックスターターリターンズpring内側のフックをキックスタータースピンドルの穴に入れた後、springカラーの溝をフックに合わせて取り付けます。

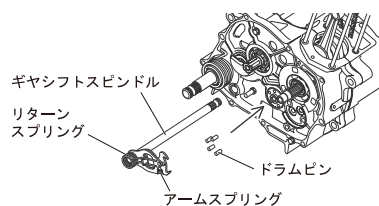


- キックスターターリターンズpringの外側のフックをクランクケースの突起部に引っ掛けます。

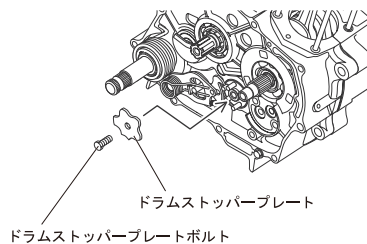


● ギヤシフトリンageの取り付け

- ギヤシフトスピンドル、リターンズpring、アームspringを、一体でクランクケースに取り付けます。
- ドラムピン四本を、シフトドラムの穴に確実に取り付けます。



- ドラムストッパプレートとドラムストッパプレートボルトを取り付けます。

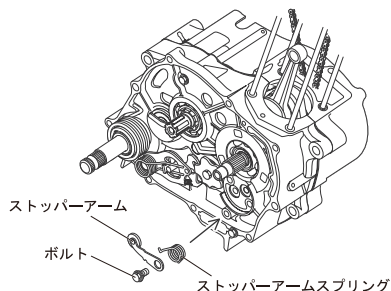


参考 ドラムストッパプレートの穴とドラムピンを合わせながら取り付けます。



トルク ドラムストッパプレートボルト締付トルク : 13N・m (1.3kgf・m)

4. ストッパーアームをストッパーアームスプリングと共に、ボルトを使用して取り付けます。



参考 ストッパーアームスプリングのフック部をストッパーアームの切り欠きに引っ掛けます。

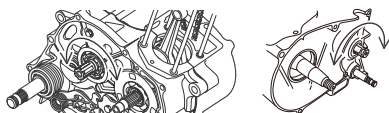


注意 ボルト締め付け後、ストッパーアームのローラー部分が、ドラムストッパープレートの凹部に接触していることを確認して下さい。



5. チェンジペダルを仮組みし、一速から五速までシフトアップとシフトダウンが出来ることを確認します。
出来ない場合はクランクケースを分解し、トランスミッション・シフトドラム・シフトフォーク・ギヤシフトリンケージの点検・組み立て・取り付けを再度行います。

参考 メインシャフト及びカウンタシャフトを回しながらシフト操作を行いますとギヤが入りやすくなります。

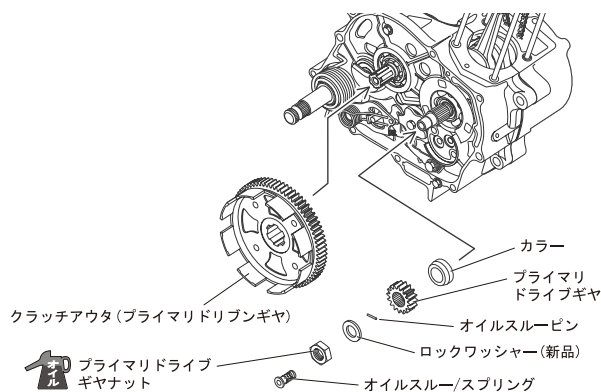


● プライマリドライブギヤの取り付け

- カラー、プライマリドライブギヤ、オイルスルーピン、新品のロックワッシャーとクラッチアウト(プライマリドリブンギヤ)を取り付けます。
- プライマリドライブギヤナットのネジ部と座面にエンジンオイルを塗布し、取り付けます。
- ギヤホルダ[HONDA純正品番: 07724-0010100]を使用して、プライマリドライブギヤとクラッチアウト(プライマリドリブンギヤ)を固定し、プライマリドライブギヤナットを規定トルクで締め付けます。

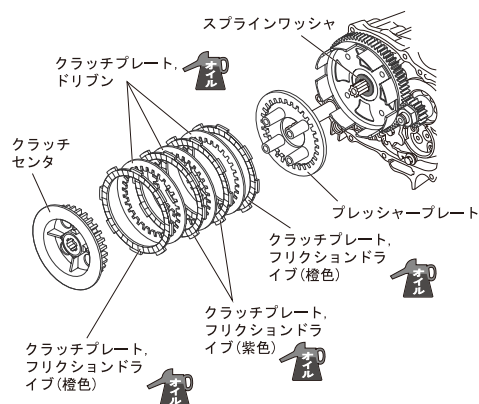
トルク プライマリドライブギヤナット締め付トルク: 39N・m (4.0kgf・m)

4. オイルスルー/スプリングを取り付けます。



● クラッチの取り付け (ヨシムラ F.C.C. 強化クラッチキットが別途必要です。)

- クラッチプレート、フリクションドライブとクラッチプレート、ドリブンにオイルを塗布し、プレッシャープレートとともに、クラッチセンタに組み付けます。
- スプラインワッシャー取り付け後、組み付けた部品を一体で取り付けます。



注意 クラッチプレート、フリクションドライブはヨシムラ製です。
組み付けは、橙色がプレッシャープレート及びクラッチセンタ側、紫色が内側です。

注意 クラッチプレート、ドリブンはヨシムラ製です。
組み付けは、垂れ面(角が丸くなっている側)をクラッチセンタ側(車両外側)に向けて下さい。

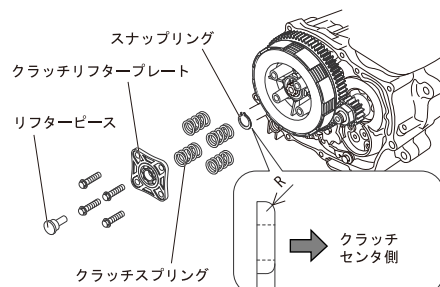


3. スナップリングを取り付けます。

注意 スナップリングはシャフトの溝に必ず入れて下さい。

4. ヨシムラ製クラッチスプリングを取り付けます。

5. クラッチリフタープレートとリフターピースを取り付けます。

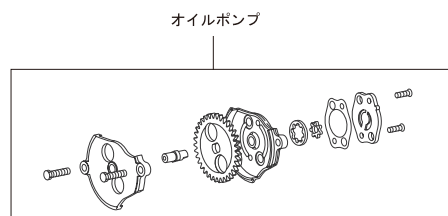


参考 ボルトは、対角線上に5~6回に分けて締め付けます。

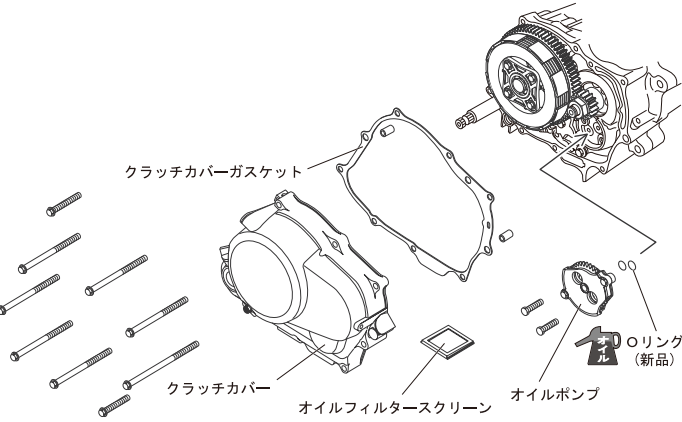


● オイルポンプの取り付け

1. HONDA純正サービスマニュアル(NSF100はセットアップマニュアル)に従い、オイルポンプを組み立てます。



2. 新品のOリングにエンジンオイルを塗布し、オイルポンプと共に取り付けます。
3. オイルフィルタスクリーン、ノックピン、クラッチカバーガasketを取り付けます。
4. ボルトを使用してクラッチカバーを取り付けます。

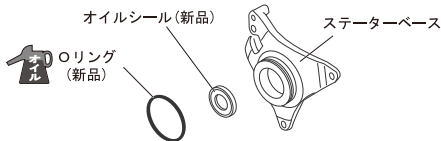


フライホイールの取り付け

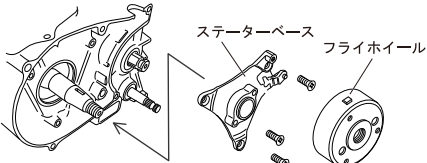
注意

当社のクランクシャフトはSTDに比べシャフト径が太く、フライホイールとの接触面が大きい為、フライホイールを確実に保持しています。その反面、フライホイールを奥まではめることが多少困難です。以下の手順で確実に行って下さい。

1. 新品のOリングにエンジンオイルを塗布し、新品のオイルシールと共にステーターベースへ取り付けます。



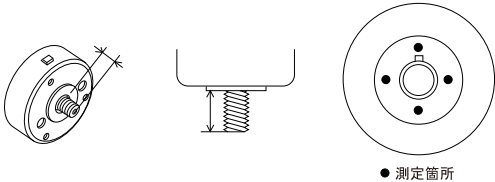
2. ステーターベースをクランクケースに取り付けます。
3. クランクシャフトのテーパー部を脱脂し、フライホイールをクランクシャフトに取り付けます。



注意

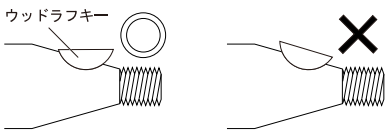
手でフライホイールを軽く叩き、奥まではまっていることを確認して下さい。

4. クランクシャフトの突き出し量を、ノギスを使用して四箇所測定し、平均値を出します。

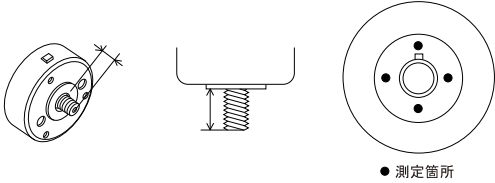


#1	#2	#3	#4	平均値

5. フライホイールを取り外します。ウッドラフキーを、上面が水平になるように取り付けます。(下図を参照して下さい。)



6. フライホイールを取り付けます。クランクシャフトの突き出し量を四箇所測定し、その平均値が先程測定した平均値と同じか確認します。
(許容範囲：0～0.1mm)
値が0.1mmを超えた場合は、ウッドラフキーの取り付け状態を確認して下さい。値がマイナスになった場合は、ウッドラフキーを外した状態での測定からやり直します。



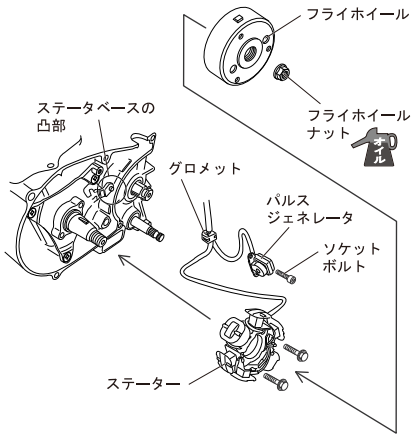
#1	#2	#3	#4	平均値

7. ステーター、ニュートラルスイッチ(NSF100を除きます。)ニュートラルスイッチスパーサー(NSF100を除きます。)をクランクケースに取り付けます。
8. パルスジェネレータの穴をステーターベースの凸部に合わせて取り付けます。ソケットボルトにネジロック剤を塗布し、規定トルクで締め付けます。

トルク ソケットボルト締付トルク：6N・m (0.6kgf・m)

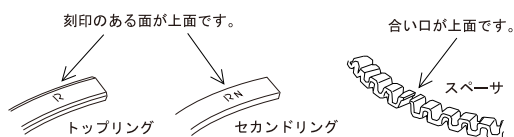
9. グロメットにシール剤を塗布し、クランクケースの溝に確実に取り付けます。
10. フライホイールナットのネジ部と座面にエンジンオイルを塗布し、フライホイールと共にクランクシャフトへ取り付けます。
11. ユニバーサルホルダ [HONDA純正品番：07725-0030000]を使用してフライホイールを固定し、フライホイールナットを規定トルクで締め付けます。

トルク フライホイールナット締付トルク：64N・m (6.5kgf・m)



● ピストンリングセットの取り付け

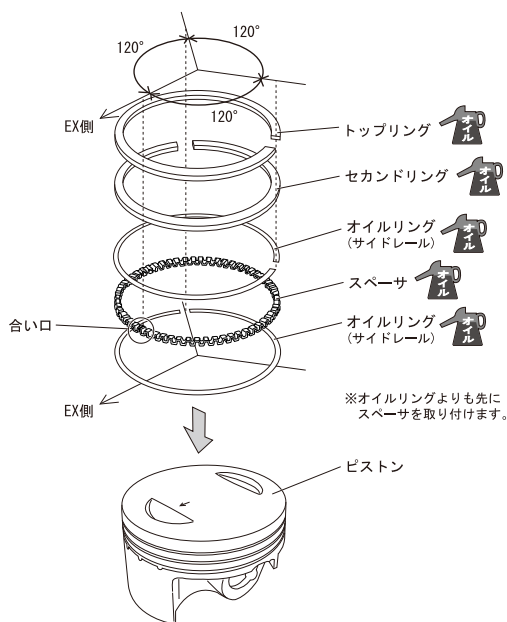
1. ピストンリングとスペーサの向きを確認します。
ピストンリングは、刻印“R”がトップリング、刻印“RN”がセカンドリングです。どちらも刻印のある面が上面です。
スペーサは、合い口が上面です。



2. オイルリング(サイドレール)の向きを確認します。
オイルリングの合い口を密着させ、オイルリングの両側に軽く力を掛けます。
リングの合い口が反った面がスペーサ側となります。



3. 各リングにエンジンオイルを塗布し、スペーサ、オイルリング2枚、セカンドリング、トップリングの順でピストンに取り付けます。



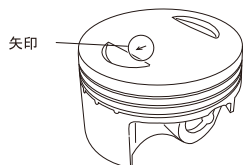
注意 ピストンに傷を付けないように取り付けて下さい。

注意 各リングの合い口は、120° 間隔で取り付けて下さい。
(上図参照)
各リングを破損させないように取り付けて下さい。

注意 合い口は絶対に重ねないで下さい。



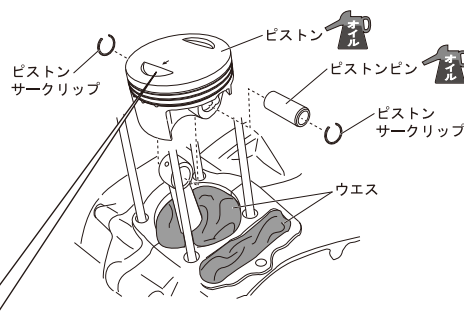
危険 矢印が向いている方が、エキゾースト側です。



注意 取り付け後、ピストンのリング溝内で、各リングがスムーズに動くことを確認して下さい。

● ピストンの取り付け

1. シリンダー合わせ面のオイル通路に異物が入っていないか点検します。
2. ピストンピン外周部、コンロッド小端部及び、ピストンピン穴にエンジンオイルを塗布します。
3. ピストンをコンロッドに取り付け、ピストンピンを取り付けます。



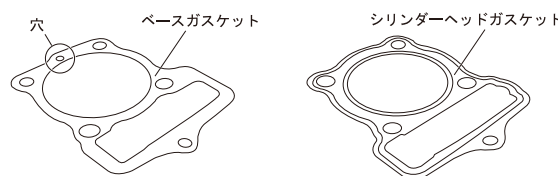
危険 矢印をエキゾースト側に向けて、取り付けて下さい。

4. ピストンサークリップを取り付けます。

注意 ピストンサークリップをクランクケース内に落とさないように、クランクケース開口部をウェスで覆って作業して下さい。
ピストンサークリップはピストンの溝に確実に取り付けて下さい。ピストンサークリップの合い口は、ピストンの切り欠き部を避けて取り付けて下さい。

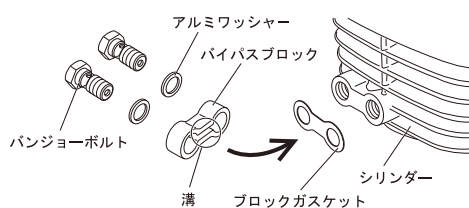
● ベースガスケットの取り付け

- クランクケース合わせ面にシール剤を塗布し、ノックピンをクランクケースに取り付けた後、ベースガスケットを取り付けます。
ベースガスケットは、シリンダーヘッドガスケットに比べ、穴が一つ多くあいています。



● バイパスブロックの取り付け

1. ブロックガスケット、バイパスブロック、アルミワッシャー、バンジョーボルトの順でシリンダーに取り付けます。



注意 バイパスブロックの向きに注意して下さい。
(上図参照)

2. バンジョーボルトを規定トルクで締め付けます。

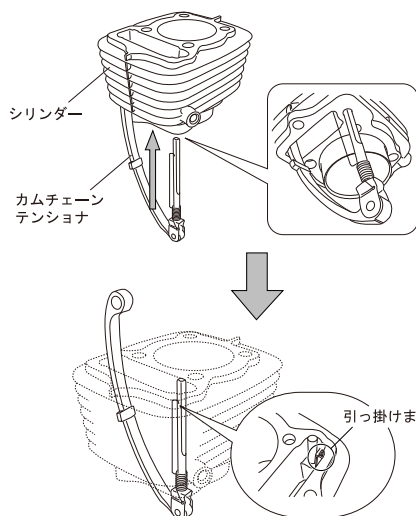
トルク バンジョーボルト締め付トルク : 15N・m (1.5kgf・m)

参考

バイパスブロックの代わりに、オイルクーラーを取り付けることが出来ます。オイルクーラー取り付けの際は、オイルクーラーの取扱説明書に従って下さい。バンジョーボルトを使用するタイプは、本製品のバンジョーボルトを必ず使用して下さい。尚、オイルクーラーを取り付けることで、注入するエンジンオイルの量が変わります。オイルクーラーの取扱説明書に従い補充して下さい。

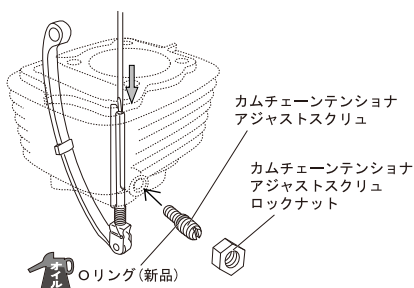
● シリンダーの取り付け

1. カムチェーンテンショナをシリンダーに挿入し、スプリングをスプリング溝に引っ掛けます。



2. 新品のOリングにエンジンオイルを塗布し、カムチェーンテンショナアジャストスクリュの溝に取り付けます。
3. カムチェーンテンショナアジャストスクリュを仮締めします。
4. カムチェーンテンショナのロッド部を押し、保持します。
5. カムチェーンテンショナアジャストスクリュを確実に締め付け、カムチェーンテンショナアジャストスクリュロックナットを規定トルクで締め付けます。

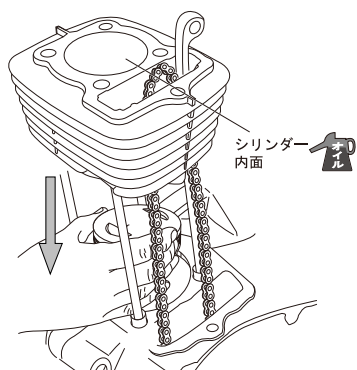
トルク カムチェーンテンショナアジャストスクリュロックナット締付トルク：12N・m (1.2kgf・m)



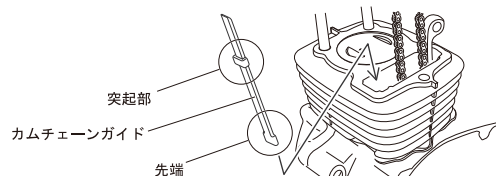
注意 カムチェーンテンショナアジャストスクリュを取り付けるときは、カムチェーンテンショナのロッド先端をシリンダー上面より下に位置するまで押し下げて下さい。取り付け後、カムチェーンテンショナのスプリングが正しく取り付けられていることを必ず確認して下さい。

6. シリンダー内面、ピストン外周面及び、ピストンリングにエンジンオイルを塗布します。
7. カムチェーンをシリンダーに通します。
8. ピストンリングを手で圧縮しながら、シリンダーを取り付けます。

注意 ピストンリングの破損及び、シリンダー内面の損傷に注意して取り付けして下さい。



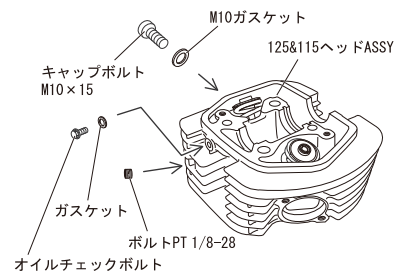
9. カムチェーンガイドを取り付けます。カムチェーンガイド先端をクランクケースの溝に、カムチェーンガイドの突起部をシリンダの溝に確実に入れます。



● 125&115ヘッドASSYの取り付け

1. STDシリンダーヘッドからオイルチェックボルトとガスケットを取り外します。
2. 125&115ヘッドASSYからカムキャリアと二個のノックピンを取り外します。キャップボルトM10×15、M10ガスケット、ボルトPT 1/8-28と、取り外したオイルチェックボルトとガスケットを、125&115ヘッドASSYに取り付けます。

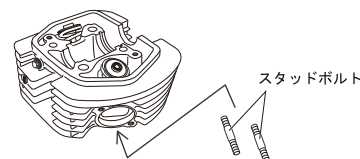
トルク ボルトPT 1/8-28締付トルク：2N・m (0.2kgf・m)



注意 ボルトPT 1/8-28を取り外した後は、必ずシールテープをネジ部に巻いて下さい。

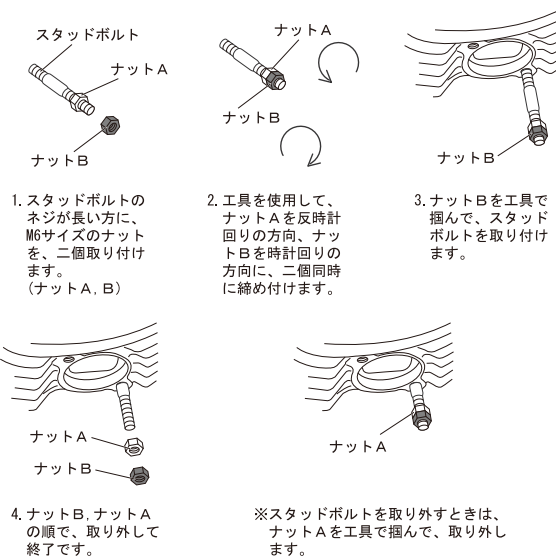
参考 ボルトPT 1/8-28の替わりに温度センサーTYPE-C [品番：415-003-4999]を取り付けることが出来ます。

3. M6サイズのナットを二つ使用して、スタッドボルトを125&115ヘッドASSYに取り付けます。



注意 スタッドボルトは、ネジ部の長さが短い方をシリンダーヘッド側に向けて取り付けして下さい。

参考 スタッドボルトは以下の様に取り付けます。(M6サイズのナットを二つ使用します。)

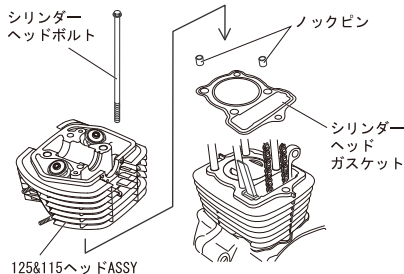


1. スタッドボルトのネジが長い方に、M6サイズのナットを、二個取り付けます。(ナットA、B)
2. 工具を使用して、ナットAを反時計回りの方向、ナットBを時計回りの方向に、二個同時に締め付けます。
3. ナットBを工具で掴んで、スタッドボルトを取り付けます。

4. ナットB、ナットAの順で、取り外して終了です。

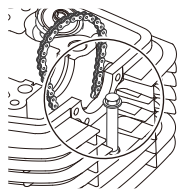
※スタッドボルトを取り外すときは、ナットAを工具で掴んで、取り外します。

4. ノックピン、シリンダーヘッドガasketを取り付けます。
5. シリンダーヘッドボルトを125&115ヘッドASSYに通します。
6. カムチェーンを125&115ヘッドASSYに通し、125&115ヘッドASSYをシリンダーに取り付けます。
7. シリンダーヘッドボルトを仮付けします。

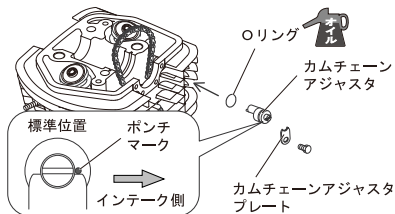


注意 125&115ヘッドASSYは、シリンダーヘッドガasketと接する面の油脂を拭き取ってから取り付けて下さい。

注意 125&115ヘッドASSYをシリンダーに載せた後に、シリンダーヘッドボルトをボルト穴に通さないで下さい。ボルトの頭で125&115ヘッドASSYを傷付けてしまう恐れがあります。



8. 新品のOリングにエンジンオイルを塗布し、カムチェーンアジャスタの溝に取り付けます。カムチェーンテンショナーの穴と、125&115ヘッドASSYの穴を合わせた後、カムチェーンアジャスタを取り付けます。
9. カムチェーンアジャスタのポンチマークを標準位置にし、ボルトを使用してカムチェーンアジャスタプレートを取り付けます。

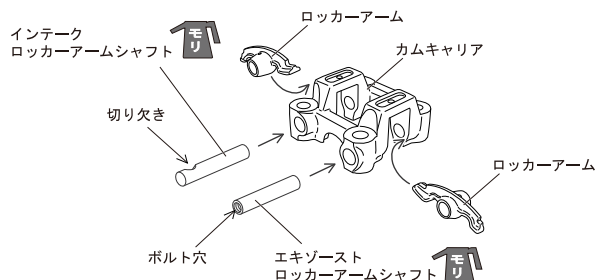


● カムシャフトの取り付け

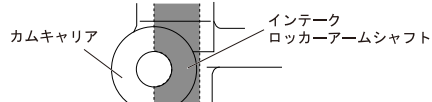
1. HONDA純正サービスマニュアル (NSF100はセットアップマニュアル) に従い、STDカムシャフトホルダからインテーク及びエキゾーストロッカーアームシャフトを取り外し、点検・洗浄します。
2. 各ロッカーアームシャフトの外周面と切り欠き部に、モリブデングリスとエンジンオイルを混合したものを塗布します。

参考 モリブデングリスとエンジンオイルは、1対1の割合で混合して作ります。

3. ロッカーアームと各ロッカーアームシャフトを、カムキャリアに取り付けます。



参考 インテークロッカーアームシャフトの切り欠きをカムキャリアの穴にあわせませす。エキゾーストロッカーアームシャフトは、ボルト穴を外側に向けて取り付けます。

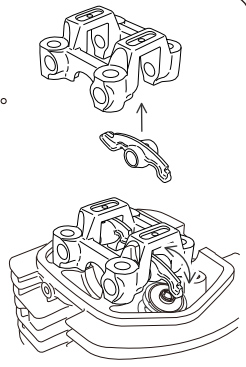


注意

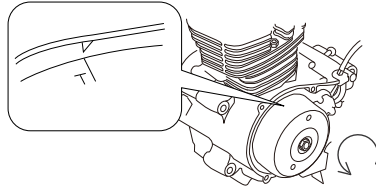
右図のようにロッカーアームをカムキャリアの下から取り付けますと、商品によっては多少入りにくい場合があります。これは加工条件等によって、起こる現象です。

カムキャリアをシリンダーヘッドに取り付けるとスムーズに動きますので性能上の問題ははありません。

念の為組み付け後にロッカーアームがスムーズに動くことを必ずご確認ください。

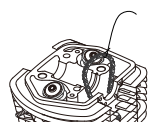


4. クランクシャフトを正回転 (反時計回り) させ、フライホイールのTマークとL. クランクケースの合わせマークを合わせます。

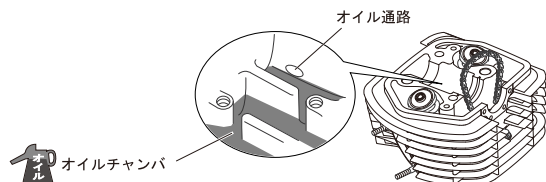


参考

カムチェーンをクランクケース内に落とさないように針金等で保持します。



5. 125&115ヘッドASSYのオイルチャンバ (オイル溜め) に、エンジンオイルを注ぎます。オイルは、オイル通路の下まで注ぎます。



6. ボタンボルトを使用して油冷プレートを取り付けます。
7. カムシャフトベアリングにエンジンオイルを、カムにモリブデングリスとエンジンオイルを混合したものを塗布し、カムシャフト固定キーと共にST-2カムシャフトASSYを、カム山を油冷プレートに向けて取り付けます。
8. タベットシムとノックピン取り付け後、カムキャリアを取り付けます。

参考

タベットシムは、薄いもの (シム表面の番号が小さいもの) を取り付けます。残りは調整時に使用します。

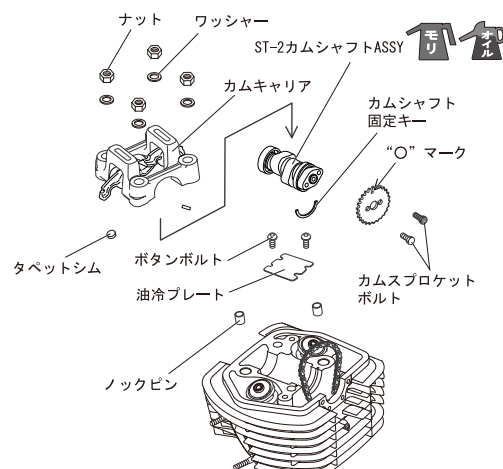
9. ナットとワッシャーを取り付け、対角線上に数回に分けて規定トルクで締め付けます。

トルク ナット締付トルク : 20N・m (2.0kgf・m)

10. カムスプロケットの“O”マークを左側に向けてカムチェーンに取り付けた後“O”マークがシリンダーヘッド上面に対し、垂直になるように、カムシャフトフランジにカムスプロケットを取り付けます。

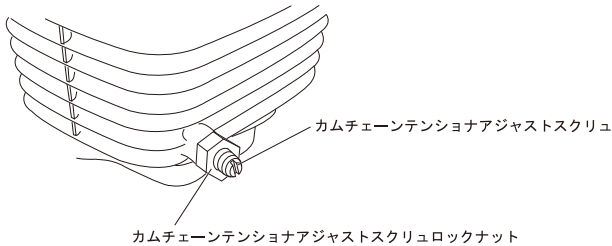
11. 黒色のカムスプロケットボルトをインテーク側、銀色をエキゾースト側に取り付け、規定トルクで締め付けます。

トルク カムスプロケットボルト締付トルク : 12N・m (1.2kgf・m)

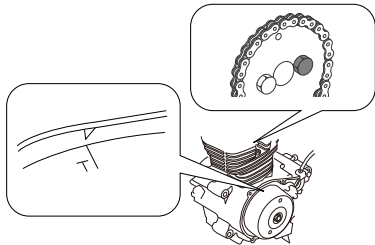


12. カムチェーンテンショナアジャストスクリュロックナットとカムチェーンテンショナアジャストスクリュを緩め、カムチェーンテンショナのスプリングの張力で、カムチェーンの張りを自動調整します。
カムチェーンアジャスタでの調整方法は、HONDA純正サービスマニュアル (NSF 100はセットアップマニュアル) を参照して下さい。
調整後、カムチェーンテンショナアジャストスクリュを締め付けカムチェーンテンショナアジャストスクリュロックナットを規定トルクで締め付けます。

トルク カムチェーンテンショナアジャスト
スクリュロックナット締め付トルク：12N・m (1.2kgf・m)



13. クランクシャフトを正回転(反時計回り)方向に2回転させ、フライホイールのTマークとL. クランクケースの合わせマークを合わせます。
カムスプロケットの“O”マークがシリンダーヘッド上面に対し、垂直になっていることを確認します。
垂直になっていない場合は、カムスプロケットの取り付けをやり直します。



■ タベットシム早見表 (SF-2カムシャフト専用)

調整前 のタベット クリアランス (mm)	調整前のシム番号 シムの厚さ (mm)	150	152	155	158	160	162	165	168	170	172	175	178	180	182	185	188	190	192	195	198	200	202	205
		1.500	1.525	1.550	1.575	1.600	1.625	1.650	1.675	1.700	1.725	1.750	1.775	1.800	1.825	1.850	1.875	1.900	1.925	1.950	1.975	2.000	2.025	2.050
0.00～0.01							1.500	1.525	1.550	1.575	1.600	1.625	1.650	1.675	1.700	1.725	1.750	1.775	1.800	1.825	1.850	1.875	1.900	1.925
0.02～0.04						1.500	1.525	1.550	1.575	1.600	1.625	1.650	1.675	1.700	1.725	1.750	1.775	1.800	1.825	1.850	1.875	1.900	1.925	1.950
0.05～0.06					1.500	1.525	1.550	1.575	1.600	1.625	1.650	1.675	1.700	1.725	1.750	1.775	1.800	1.825	1.850	1.875	1.900	1.925	1.950	1.975
0.07～0.08				1.500	1.525	1.550	1.575	1.600	1.625	1.650	1.675	1.700	1.725	1.750	1.775	1.800	1.825	1.850	1.875	1.900	1.925	1.950	1.975	2.000
0.08～0.18 (0.13±0.05)																								
						</																		

※ タベットシムは、0.025mm刻みで販売しています。シム表面には厚さを表す番号が記されており、ヨシムラ品番:225-406-0xxx (SUZUKI純正品番:12892-05C00-xxx) の“xxx”を表します。1.600mm=160、1.625mm=162、1.650mm=165、1.675mm=168、1.700mm=170・・・2.375mm=238、2.400mm=240
例：1.950mm=225-406-0195 (SUZUKI純正品番:12892-05C00-195)

● タベットクリアランスの調整

■ 規定値 (冷間時)
・ インテーク : 0.13±0.05mm ・エキゾースト : 0.13±0.05mm

注意 タベットクリアランスが規定値の範囲内か確認し、規定値外の場合は必ず調整して下さい。

※ 規定値から外れている場合は、下記の計算式に数値を入れてタベット調整に必要なシムの厚さを計算します。

$$(A - B) + C = D$$

A : 測定したタベットクリアランス (測定値)
B : タベットクリアランス規定値 (基準値)
C : 調整前のシム厚さ (組み込まれているシムの厚さ)
D : 新品シム厚さ (タベット調整に必要なシムの厚さ)

計算例

測定値:0.21mm、組み込まれているシムの厚さ:1.95mm (番号:195) としますと以下のようになります。

規定値は0.13±0.05mm (0.08~0.18mm) なので、(0.21-0.08)+1.95=2.08 から (0.21-0.18)+1.95=1.98 までとなり、2.08~1.98の間に入る厚さのシムを選択します。タベットシムは、1.600mm (番号:160)~2.400mm (番号:240)の間、0.025mm刻みで販売している為、2.000mmのシム (番号:200)、2.025 (番号:202)、2.050 (番号:205)、2.075 (番号:208)の四種類となります。どれを選択しても良いのですが、シム交換後のタベットクリアランスが0.13mmに最も近づくシムをお奨めします。

尚、上記計算をしなくても、下記の早見表で、シムを選択することも出来ます。

1. タベットクリアランス測定値を縦列、調整前のシムの厚さを横列から見つけます。
2. 縦列と横列の交わった所が、調整に必要なシムの厚さとなります。

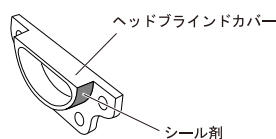
注意 タベットシム交換後、タベットクリアランスを必ず測定して下さい。

● シリンダヘッドカバーの取り付け

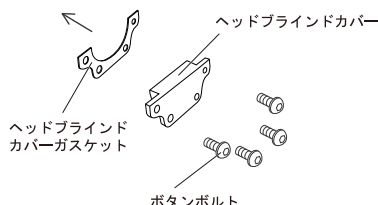
1. ヘッドブラインドカバーの湾曲部にシール剤を塗布します。

推奨シール剤

・スズキボンド “1207B” [SUZUKI 純正品番: 99000-31140]

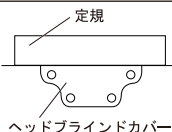


2. 定規を125&115ヘッドASSYの上面に当てた状態で、ヘッドブラインドカバーガasketとヘッドブラインドカバーを125&115ヘッドASSYに取り付け、ボタンボルトを締め付けます。



注意

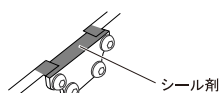
125&115ヘッドASSY上面に当てた定規と、ヘッドブラインドカバーの間に隙間を開けないで下さい。オイル漏れの原因となります。



3. ヘッドブラインドカバーと125&115ヘッドASSYの合わせ面にシール剤を塗布します。

推奨シール剤

・スズキボンド “1207B” [SUZUKI 純正品番: 99000-31140]



4. 新品のシリンダーヘッドカバーガasket、シリンダーヘッドカバー、シリンダーヘッドカバーボルトとシールラバーを取り付けます。シリンダーヘッドカバーボルトを規定トルクで締め付けます。

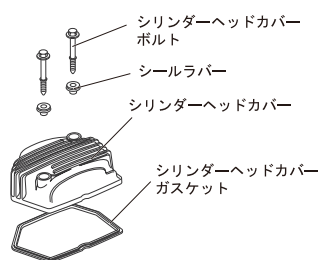


注意

シールラバーが劣化・損傷している場合は、新品に交換して下さい。

トルク

シリンダーヘッドカバーボルト締め付トルク : 12N・m (1.2kgf・m)



● バルブタイミングの測定・調整

■ ロブセンタ規定値

・インテーク : 106.0°

・エキゾースト : 104.0°



注意

必ずバルブタイミングを測定し、規定のロブセンタ値に調整して下さい。
測定・調整方法は、ヨシムラジャパンホームページにて公開中です。

参考

カムプロケットのボルト穴の範囲内で規定値に入らない場合は、カムプロケットのボルト穴を長穴加工して下さい。



危険

調整後、必ずカムプロケットボルトにネジロック剤を塗布して下さい。

カムプロケットボルト締め付トルク

: 12N・m (1.2kgf・m)

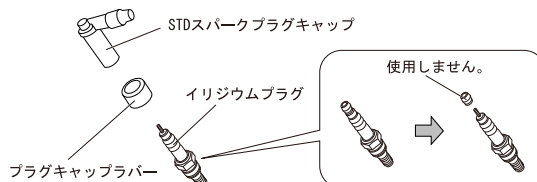


注意

バルブタイミングを変更しますと、ピストン・バルブクリアランスが変わります。
バルブタイミングを変更した結果、ピストン・バルブクリアランスが確保できなくなる場合もあります。
その場合は、バルブタイミングよりもピストン・バルブクリアランスの確保を優先して下さい。

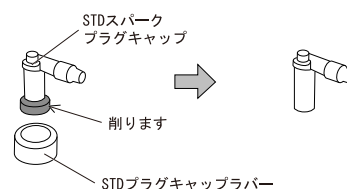
● スパークプラグの取り付け

1. STDスパークプラグキャップからSTDプラグキャップラバーを外し、本製品に付属のプラグキャップラバーを取り付けます。
2. 125&115ヘッドASSYのプラグホールに、本製品に付属のプラグレンチを使用して、イリジウムプラグを取り付けます。



注意

年式・車種によっては STDプラグキャップラバーを外した際に、STDプラグキャップの先端に凸部がある場合があります。
その場合は、下図を参考に凸部を削って下さい。



● 推奨キャブレターセッティング (NSF100, XR100 Motard, Ape100共通)

	MJ	PJ	AS	MJNノズル	クリップ段数
TM-MJN24	#97.5	#27.5	3/4回転戻し	“AF”	上から三段目
TM-MJN26	#102.5	#25	3/4回転戻し	“YA”	上から二段目

● NSF100に取り付けるときは

■ 下記配線一式に取り替えます。

CDユニット	：[HONDA純正品番：30410-KRL-003]
ハーネス、ワイヤー	：[HONDA純正品番：32100-KTK-000]
ステーターCOMP.	：[HONDA純正品番：31120-KTK-003]
スイッチASSY.、コンビネーション	：[HONDA純正品番：35100-KTK-000]
レクチファイヤーCOMP.、レギュレーター	：[HONDA純正品番：31600-GBL-871]
スイッチセット、サイドスタンド	：[HONDA純正品番：35070-KTK-000]

※1 上記部品の車体への固定は、タイラップ等を使用して確実に行って下さい。
※2 スwitchセット、サイドスタンドは、格納状態で固定して下さい。



サイドスタンドが出ている状態



格納状態

※3 ステーターCOMP. の交換作業に必要な特殊工具

- ・ユニバーサルホルダー・・・・・・・・[HONDA純正品番：07725-0030000]
- ・フライホイールプーラー・・・・・・・・[HONDA純正品番：07733-0010000]

● エンジンオイルの注入

- HONDA純正サービスマニュアル(NSF100はセットアップマニュアル)を参照し、新品のエンジンオイルを規定量注入します。
※オイルクーラーを取り付けた場合は、エンジンオイルの量が変わります。
オイルクーラーの取扱説明書に従い注入して下さい。



等級：API-SGグレード以上 粘度：SAE10W-40

参考

推奨エンジンオイル：

シェルアドバンス ウルトラ4 10W-40

● 各部の点検

- 本製品を取り付けし、取り外した各部品を元通りに取り付けた後は、下記の項目に沿って点検を行います。
 - ・エンジンオイルの量
 - ・ハイオクタン価ガソリンの使用
(フューエルタンク内にレギュラーガソリンが残っている場合は、全て抜き取ってから給油します。)
 - ・各部の締め付け
(ボルト、ナットの締め忘れがないか点検します。)

参考

エンジンが車体に載っている状態でスパークプラグを取り付け、取り外しする場合 NSF100に限り、本製品に付属されているプラグレンチは、使用出来ません。
エンジン車載状態で取り外す場合は、下記の工具の使用をお奨めします。

※推奨工具：KTC製プラグレンチ [KTC品番：B25P-13H]

- ・オイル漏れ、異音の有無と油圧
(エンジンを始動させ、異音がないか オイル漏れがないか点検します。エンジンの始動と油圧の点検は、右記の【エンジンの始動について】を参照して下さい。)
- ・その他、走行するにあたりタイヤの空気圧、ブレーキの効き具合、ブレーキパッドの摩耗、ブレーキオイルの漏れ、車体廻りのボルト、ナットの緩みがないか点検します。

【エンジンの始動について】

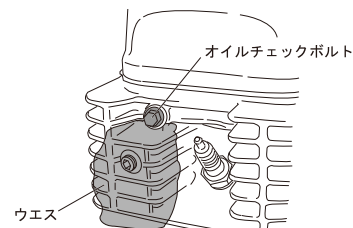
- 焼き付き、かじり等の防止の為、シリンダーヘッドまでオイルが十分に行き渡る様に、以下の手順でオイル上げ作業を行います。
 - ・エンジンの負荷を軽くする為に、スパークプラグを外した状態でクランクイング(空回し)を行います。
 - ・数分間放置した後、オイルレベルを点検し、オイルが足りない場合は補充します。
- 油圧が正常か確認する為に、以下の手順で油圧の点検を行います。
 - ・オイルチェックボルトの周りをウエスで覆います。
 - ・オイルチェックボルトを緩めた状態でエンジンを始動します。



注意

エンジンオイルが吹き出す恐れがある為、オイルチェックボルトは取り外さないで下さい。

- ・エンジンオイルがボルト穴からにじんできたら油圧は正常です。
出てこない場合は、エンジンを分解・点検し、組み直します。
- ・オイルチェックボルトを確実に締め付けます。
- ・シリンダーヘッドに付着したエンジンオイルを拭き取り、エンジンを洗浄します。



【慣らし運転について】



注意

慣らし運転中は、急発進・急加速などの重負荷の掛かる走行は行わないで下さい。

- エンジンを始動させオイル漏れが無い確認し、油温が上昇するまで暖機させて下さい。走行開始後200kmまでは5,000rpm、300kmまでは6,000rpm以下で走行します。
- エンジン始動時の暖機運転は油圧を確保する為、2,000～3,000rpmを保ち十分に行います。
- 慣らし運転終了後、エンジンオイルの交換を行い、異音等が無いことを確認します。異音が出ている場合は、再度エンジンを分解し点検します。

参考

エンジンオイルは、本書指定の等級(APIサービス分類)及び粘度(SAE規格)のものを使用して下さい。
(左記 エンジンオイルの注入 参照)

- その後、500km走行時にエンジンオイルの交換を行います。
- 以降、500km走行毎にエンジンオイルの交換を行います。

【ヨシムラヘッドの分解・組立について】

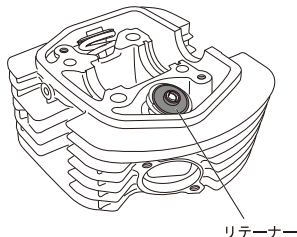
● ヨシムラヘッドの分解・組立に必要な特殊工具

- バルブリフター [SUZUKI純正品番：09916-14510]
- アタッチメント [SUZUKI純正品番：09916-14530]

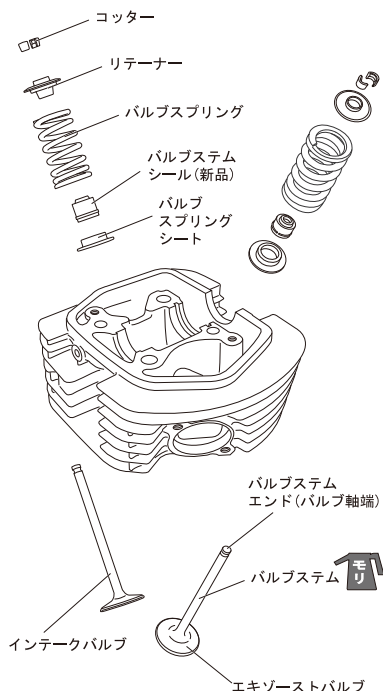
● ヨシムラヘッドの分解・組立

1. バルブリフター[SUZUKI純正品番：09916-14510]のアタッチメントをアタッチメント[SUZUKI純正品番：09916-14530]に付け替えます。
2. アタッチメントをリテーナーに接触させ、アタッチメントの反対側に位置するバルブリフターの球状の部分を、バルブに接触させます。
3. バルブリフターのハンドルを回し、バルブスプリングを縮めます。

注意 バルブスプリングの縮め過ぎに注意して下さい。



4. コッターをピンセット又はマグネットツールを使用して取り外します。
 5. バルブリフターのハンドルを回し、バルブスプリングを元に戻します。
 6. そのままハンドルを回し、リテーナーとアタッチメントとの間にある程度の隙間が出来ましたら、バルブリフターを取り外します。
 7. リテーナーとバルブスプリングを取り外します。
 8. バルブステムエンド(バルブ軸端)を指で軽く押し、インテークバルブ(又はエキゾーストバルブ)を燃焼室側から取り外します。
 9. バルブステムシールを取り外した後、バルブスプリングシートを取り外します。
- 組立は、分解と逆の手順で行います。



注意 組み立てるときは、ゴミの混入がないように清潔な場所で作業して下さい。

注意 バルブステムシール [品番：881-406-4500] は、必ず新品を使用して下さい。

注意

バルブを取り付けるときは、バルブステムのガイド摺動部に、モリブデングリスとエンジンオイルを1対1の割合で混合させたものを少量塗布した後、バルブステムシールの損傷を防ぐ為、ゆっくりとバルブを回しながら取り付けて下さい。

参考

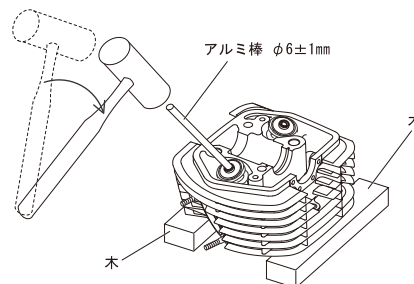
バルブスプリング[品番：220-406-0001]には、上下の向きはありません。

参考

組立後、下記の方法でバルブ、コッター、リテーナーのなじみを良くします。

1. 燃焼室を避ける様にして、シリンダーヘッドを木で支えます。
2. $\phi 6 \pm 1 \text{mm}$ のアルミ棒をバルブステムエンド(バルブ軸端)に当て、ハンマーでアルミ棒を軽く2~3回叩きます。

注意! リテーナーは絶対に叩かないで下さい。コッターがバルブから外れ、動弁系が分解します。



取り付けの際は、他のパーツとの干渉等を十分に確認した上、行って下さい。不具合のある場合は、取り付け及び使用を中止し、(株)ヨシムラジャパンまでご相談下さい。

お客様お問い合わせ窓口 046-286-0321

(株)ヨシムラジャパン

〒243-0303神奈川県愛甲郡愛川町中津6748

TEL 046-286-0321

FAX 046-286-1919

<http://www.yoshimura-jp.com>